

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	令和5年7月27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 学校法人同志社 理事長 八田 英二

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	KES・環境マネジメントシステム・スタンダード（ステップ1）
適 用 範 囲	同志社大学今出川校地、同志社大学京田辺校地
導 入 年 月 日	平成31年3月1日、令和4年3月1日更新
認 証 番 号	KES1-1482, KES1-1483
基 本 方 針	平成30年9月に同志社大学において「環境宣言」を制定し、環境管理重点テーマとして、エネルギー使用量の削減、リサイクルの推進、環境にかかわる啓発活動を掲げて、活動に取り組んでいる。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	環境改善目標（中長期） (1)省エネルギー：エネルギー使用量の削減（二酸化炭素排出量換算）3%減 (2)省資源：古紙回収率の向上（古紙リサイクル量/一般廃棄物排出量）3%pt（今出川）・5%pt（京田辺）向上 (3)啓発活動：学生への環境に係わる取組の周知・要請 計年7300人
目標を達成するための取組の内容	(1)省エネルギー：照明のLED化、空調設備の更新、エアコン温度・運転の適正管理、不必要な電灯の消灯 (2)省資源：ごみ箱への分別方法掲示、分別の徹底、シュレッダーの活用、校地内ごみ箱の拠点化 (3)啓発活動：掲示・パンフレット配付
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー、省資源、啓発活動ともに、取組は概ね計画どおり進捗している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2022年度は対面授業が増え、学生の登校人数も戻りつつあるが、省エネルギー・省資源の項目は、ともにコロナ禍以前の数値と比べても減少傾向にあり、順調に成果を上げている。啓発活動については、啓発パンフレットを計画どおりの冊数を配布し、継続した取組ができている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境マネジメントシステムを継続し、法令は遵守できている状況である。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2022年度の同志社大学のエネルギー使用量の削減、省資源としての古紙回収率は概ね目標を達成しているため、環境マネジメントシステムの見直しは考えていない。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。